



実践報告

7

「住文化向上」「次世代育成」 「環境配慮」を柱に、自発的 活動を促す仕組みをつくり、 活動を推進しています。



人々の暮らしと地域社会にかかわる事業を営む当社は、地域と社会の一員として、さまざまな社会貢献活動を進めています。企業理念の根本哲学「人間愛」を活動理念に掲げ、「住文化向上」「次世代育成」「環境配慮」を柱に、本業を通じた活動はもちろん、「従業員のボランティア活動、チャリティー参加」「NPO・NGOとの協働、活動支援」「教育機関と連携した教育支援活動」などで、一人ひとりの自発的活動が可能な仕組みづくりや、地域に根差した活動を続けています。



住文化向上

- 従業員のボランティア活動
- NPO・NGOとの協働



次世代育成

- チャリティー参加
- 活動支援



環境配慮

- 国際協力
- 緊急支援
- 教育機関と連携した教育支援活動
- 事業活動を通じて

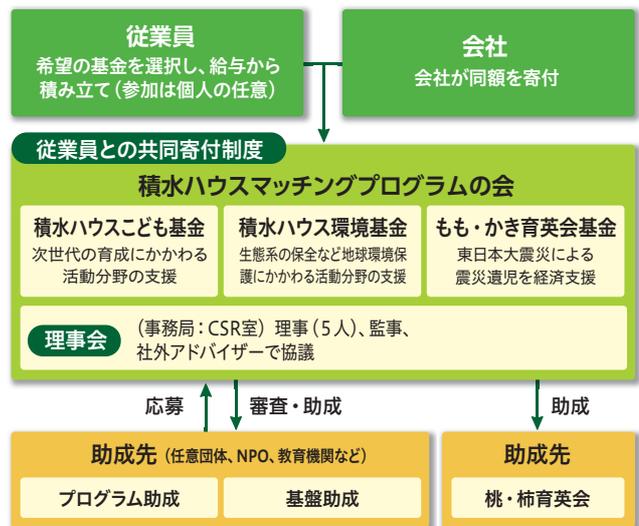
企業理念の根本哲学 「人間愛」

社会的活動を担うNPOを支援する 「積水ハウスマッチングプログラム」

従業員との共同寄付制度「積水ハウスマッチングプログラム」(会員数約2200人)を2006年度から開始。NPOなどの社会的活動を担う団体を支援しています。このプログラムは、従業員が給与から希望する金額(1口100円)を積み立て、それに当社が同額の助成金を加えて寄付する仕組みです。「積水ハウスこども基金」「積水ハウス環境基金」の2基金は、会員代表で構成する理事会で支援先を決定します。

2011年度は29団体に1566万円を助成。また、東日本大震災による震災遺児を経済支援する「桃・柿育英会」(実行委員長:建築家安藤忠雄氏)の趣旨に賛同し、三つ目の基金として「もも・かき育英会基金」を設置しました。「もも・かき育英会基金」は、震災遺児を10年間にわたり経済支援していきます。

■「積水ハウスマッチングプログラム」の仕組み



■ 2011年度の助成先

プログラム助成 15団体1291万円	基盤助成 14団体275万円
●こども基金 7団体708万円	●こども基金 8団体155万円
●環境基金 8団体583万円	●環境基金 6団体120万円

プログラム助成団体

こども基金	環境基金
●NPO法人 ADRA Japan	●大阪府立園芸高等学校
●NPO法人 アレルギー支援ネットワーク	●NPO法人 自然環境復元協会
●NPO法人 国境なき医師団日本	●NPO法人 白神山地を守る会
●NPO法人 チャイルド・ケモ・ハウス	●NPO法人 グラウンドワーク三島
	●NPO法人 生働工房
	●NPO法人 日本国際ボランティアセンター
	●NPO法人 珊瑚舎スコレ



障害者週間行事に参画

2005年から、本社のある梅田スカイビルで開催されている「障害者週間行事」(後援:内閣府)に参画、運営に協力しています。

「障害者と社会をつなぐシンポジウム」では、「被災地から、そして関西から。地域、施設、企業の取り組み～私たちにできること～」と題したパネルディスカッションを実施。行政・企業・NPO・市民がともに考え、話し合う有意義な場となりました。



シンポジウムには多様なセクターから多くの方々参加了

全国50大学が参加する「住空間ecoデザインコンペティション」を支援

2005年度から、2.4メートル立方の空間に納まる原寸大モデル制作を前提とした学生コンペ「住空間ecoデザインコンペティション」に参画、運営に協力。住空間における環境意識を高め、暮らしの質を向上させる商品の企画、産学の連携強化、学生間の交流促進、若手デザイナーの育成を主目的に開催しています。2011年度は全国50大学から187作品の応募がありました。



関東ブロック 最優秀賞
「都市の夢柱化」
日本大学大学院
渋谷舞さん、三角奈津紀さん、
酒井誠さんの作品

猪熊弦一郎氏 壁画「都市流動」寄贈

2011年9月、旧ホテルフジタ京都(京都市)の建て替え工事に伴い、壁画「都市流動」を猪熊弦一郎現代美術館(香川県丸亀市)に寄贈しました。壁画「都市流動」は、同ホテル開業以来1階ロビーを飾っていましたが、1982年実施の改修工事で壁画の前に壁が作られて以降、行方がわからなくなっていた作品です。解体工事前にその存在が判明したため、工事実施時に取り外し、同美術館に寄贈しました。



撮影:高橋 章氏 壁画《都市流動》1969年丸亀市猪熊弦一郎現代美術館「祝20祭」での展示風景

地域のコミュニティづくりを支援 公益信託「神戸まちづくり六甲アイランド基金」

1996年「六甲アイランドCITY」(神戸市東灘区)と深いかかわりのある当社とP&G社が共同で、神戸市における国際的・文化的なコミュニティづくりを資する事業や活動を助成する基金を設立。NPOなど多くの団体の活動支援のため、2011年度までに413件、3億4768万円の助成を実施しました。助成活動15周年にあたる2011年、その継続的なコミュニティづくりサポート活動の実績が評価され、神戸市より表彰されました。

NPOと連携して障がい者の自立を支援

当社では2000年からNPO法人トゥギャザー(奈良市)と協働し、障がい者自立支援に積極的に取り組んでいます。その一環として障がいのある方が作るSELP(セルフ)製品※を、全国で開催する現場見学会「住まいの参観日」や展示場への来場者にお渡しするノベルティとして採用。2011年度は2万8452個を購入しました。



※SELP製品:障がい者が社会福祉施設で、職業訓練や社会参加の実現を目的に働き、作られた製品

VOICE

多くの他者との協働から、新しい価値を創出

積水ハウスの社会貢献活動の強みは「連携力」。「神戸まちづくり六甲アイランド基金」やマッチングプログラム、そして障害者週間行事などは、自社だけでなく、多くの他者との協働により、新たな価値を生み出していると思います。東日本大震災の被災地支援においてもその強みを遺憾なく発揮されました。日々の社会貢献活動の中で、「顔の見える緩やかな関係」づくりを丁寧に培われている成果でしょう。この点をさらに発展していただきたいと思います。

社会福祉法人 大阪ボランティア協会
事務局長 水谷 綾氏

NPO現場に向き、運営支援やNPOガバナンス構築に取り組み傍ら、行政との協働、企業のCSR/社会貢献プログラムづくりにも注力。

